

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 藤英会

I.施設理念

～ のびのび 明るく 穏やかな暮らし ～

II 施設方針

1. 一人でも多くの方に<家としての暮らしの場>を提供することが私たちの使命です。
2. スタッフは<心を一つ>にし、ご利用者様の暮らしに寄り添ってまいります。
3. ご利用者様のお話しを丁寧に聞き、ご家族参加型の施設運営を目指します。
4. 地域の皆様に、お気軽にご利用いただき、また育てていただけるよう取り組んでいきます。
5. スタッフ一人一人の<やる気>と<向上>を支援するためのシステムを整えております。

III. 事業方針

コロナウィルスとの戦いは続き、介護業界に深刻な影響を与えました。ワクチン接種や基本的な感染対策が行われていても、高齢者施設でのクラスター発生は第6波が過ぎた今も報告が続いています。前年度より感染症BCPの話し合いを始めていますが、更に内容を精査しながら不測の事態に備えました。

「2025年の危機」の突入時期となり、「支え手不足」が叫ばれる中、施設では派遣社員を使わず適正シフトが組めていることが当たり前のことではないことを伝えました。技能実習生の受け入れ、介護ロボットやICTの導入を進めるとともに、みどりの丘で働く職員にやりがいや将来に希望が持てるような取り組みを事業所として行っていかなければならないと考えました。

いち早くSDGs活動に手をあげたのは、長期的な視野で物事を考えることができる職員の育成と、社会の課題を解決していくという社会人として当たり前のことができる人材が介護の担い手であるべきと考えたからでした。

IV.事業目標

- (1) 施設生活の中で社会課題となり得る問題の解決に取り組みました。
- (2) 介護技術や接遇の向上を図り「みどりの丘の介護」を確立するよう努めました。
- (3) ICTの導入により情報の共有に努めサービスの向上を図りました。
- (4) 自然災害と感染症のBCPおよびBCMを策定し緊急事態時に備えました。
- (5) 各部署の努力により稼働率を目指しましたがコロナの影響を受けました。

V.事業実施計画

(1) 介護老人福祉施設事業

- ① 「みどりの丘の介護」に繋がるチームケアを行いました
一人一人の利用者様にそれぞれの専門分野の知識を生かしながら、関りを持つことでより良いケアができるチームケアを目指しました。
- ② スタッフの「やる気と向上」を支援していきました
職員が働きやすく、一緒に学び、共に育つ環境を作りました。理想の施設とはどんな施設なのか、スタッフ自身が考え、みどりの丘での実現を目指しました。
- ③ 地域から信頼される施設になるよう取り組みました
居宅、デイサービス、ショートステイから入居まで介護が必要になった時の受け皿から最後のお住まいとして特養の役割を果たす取り組みを行いました。
信頼を寄せて頂けるような介護力のある施設を目指しました。
- ④ 施設全体でSDGs活動の輪を広げます
昨年より川崎市のSDGsゴールドパートナーとして認定されました。
より広い視野に立ち、社会の課題解決を行っていくことを目的に始めました。
2022年川崎市スマートライフスタイル大賞『最優秀賞』、2023年脱炭素チャレンジカップ全国大会『環境大臣賞金賞』を受賞することができました。
- ⑤ 目標稼働率
上記の取り組みにより入居稼働率はユニット97.7%・従来型91%、空所利用と合わせ、年間稼働率98%を目指しましたが減収となりました。

(2) 短期入所生活介護事業

- ① ご利用者様本人とご家族様から聞き取った内容をサービスに反映し、顧客満足度ならびにリピート率の向上を目指しました。
- ② 介助の根拠を意識して、マニュアルに沿った食事・排泄・入浴介助のサービスの質を上げ、「みどりの丘のショートステイでは、安心して生活を送ることができる」と感じていただけるような施設を目指しました。
- ③ ICT化を進めることで、情報アクセスを容易とし、他事業所や多職種との連携を深めていくことを目指しました。
情報共有を効率化することで、ご家族様やご利用者様に適切なサービスを提供できるような環境づくりを目指しました。
- ④ 目標稼働率
前年に引き続き、稼働率 130%を目指しましたがコロナの影響があり減収となりました。

(3) 通所介護事業所

- ① 高齢者の「元気な生活」を支える、地域福祉の担い手になるよう取り組みました。機能低下やコロナ禍で自宅に引きこもりがちになっている高齢者の生活を活動的なものにし、充実したシニアライフを送って頂く取り組みを行いました。
- ② 介護する人の負担を軽減します
デイサービスを利用して頂くことにより、介護者が介護から解放される時間を持つことができ、利用者も家族も良い家庭環境で生活できる取り組みを行いました。
- ③ 安心・安全なサービスの提供します
新型コロナウイルス感染予防対策を強化するとともに、特養併設の利点（設備・人材）をフルに活用し、利用者に安心して安全なサービスを提供するよう取り組みました。
- ④ 趣味や生きがいを発見する場所となります
機能訓練・レクリエーション・創作活動などを通し、他の利用者やスタッフと交流を持ち、新しい趣味や生きがいを発見できるように支援しました。
- ⑤ 目標稼働率
上記の取り組みを行っていきませんが、地域に同業者が連立していること、又コロナ禍で利用者の確保が困難であり、減収となりました。

(4) 居宅介護支援事業所

在宅で生活されている方、困難になった方が笑顔で過ごせるように、事業所内の連携の強化を続けました。

居宅介護支援事業所として法人に属している居宅介護支援事業所の使命を念頭に置き地域で必要とされる事業所として相乗効果を生んでいきました。

平均稼働率 100%を維持することができました。

VI.介護サービス指針

① 尊厳を重視したケアに努めます

ご利用者様の意思を尊重し、自己決定ができるように支援していくことが一番大切なことと捉えています。丁寧な声かけと残存機能を活かした介助を行い、利用者様に優しいケアに努めました。

② 笑顔になれる「食」の充実を図ります

「入浴・食事・排泄」の三大介護は高齢者の生活を支える上でなくてはならないものです。その中で食事は「食べることは生きる事」と考え今までも重要視してきました。季節感のある食事やメニューの選択、食べたいものをリクエストできるなど利用者様が笑顔になれる食事を提供しました。ショートや特養入居者様から「みどりの丘の食事は美味しい」と言われることも多くなりました。

③ 日々の暮らしを大切にします

レクリエーション、クラブ、イベント活動が制限されるコロナ禍の中で、改めて施設の生活が利用者様を支えていることを実感しました。日々の生活を大切にすることで利用者様の安心と安全を守っていくよう努めました。

④ 感染症予防に努めます

感染症を恐れるのではなく正しい予防と必要な対策ができるように努めました。感染症BCPの策定、マニュアルの浸透、随時見直しを行いながら予防に努めました。また感染発症時は本部を立ち上げ、施設全体で取り組みました。

VII.提供するサービス内容

(1) 行事・イベント

慣れ親しんだ風習、四季の移り変わりが楽しめるような行事

4月	お花見（施設周辺）	
5月	端午の節句	筍ご飯
6月	開設記念日	松花堂弁当
7月	七夕	丑の日（うなぎ）
8月	花火大会	
9月	敬老会	お祝い御前
10月	お月見	
11月	秋まつり	屋台メニュー
12月	クリスマス会	クリスマスメニュー
1月	お正月	おせち・お汁粉
2月	節分（フロア毎）	節分メニュー（鰯、大豆）
3月	ひな祭り	ちらし寿司
イベント	フロア一で企画	
外出レク	花見・外食・買い物	状況を見ながら
移動パン屋さん	好きなパンの購入	第1・3・水曜日

※感染予防のためフロア一別に実施

(2) クラブ活動

趣味や得意分野を生かして頂く活動

クラブ名	内 容	開催頻度
囲碁クラブ	・初心者には入門教室がある ・囲碁仲間が集まり碁を楽しむ	中止
書道クラブ	・筆を持って書を書く ・季節に合わせた文字を書く	中止
音楽クラブ	ピアノ演奏に合わせてなじみの唱歌を 歌うことで楽しみにつなげる	中止
美容クラブ	・美容部員の方と一緒に化粧をする ・香りや化粧動作がリハビリにつながる	中止
手芸クラブ	日本の風習にちなんだ手芸品を作る	中止
シネマクラブ	懐かしの邦画・洋画を見る会	中止

VIII. 職員研修計画と活動

(1) 定例研修・学習会

職員のスキル向上のための研修および勉強会

実施月	研修内容	主催
4月	令和4年事業計画書 法令遵守・モラルについて	施設長
5月	高齢者虐待防止（身体拘束含む）と不適切ケアについて	副施設長
6月	食中毒の予防および蔓延防止に関する事例検討	栄養士
7月	事故の発生またはその再発防止について	事故防止委員会
8月	高齢者の体調変化と観察、夜間緊急時の対応	看護師
9月	認知症に関する研修	副施設長
10月	救命救急と緊急時の対応	介護主任
11月	感染症の予防・蔓延防止に関する研修と事例検討	看護師
12月	高齢者の安全な食事に関する研修	栄養士
1月	介護保険法とケアプランについて	介護支援専門員
2月	褥瘡および看取りに関する研修	看護師
3月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	事故防止員会
随時	介護技術などの勉強会	介護主任

(2) 会議

意見交換や話し合いを通じて良い施設づくりを進めました

会議	出席者	開催頻度	主催
定例会	施設長、事務長、専門職 介護マネージャ・チーフ・ リーダー	第1木曜日	施設長
ケアトップ会議	施設長 介護マネージャ・チーフ	第2月曜日 第4木曜日	施設長
リーダー会議	介護マネージャ・チーフ リーダー	毎月	介護M
フロアー会議	介護マネージャ・チーフ 介護リーダー・スタッフ	月2回	介護リーダー
ナース会議	看護師、施設長、栄養士	毎日	看護
カンファレンス サービス担当者会議	介護マネージャ・チーフ 介護スタッフ（居担）、 栄養士、看護師、ご家族様	随時	介護支援専門員

(3) 委員会

スタッフが意見を出し合い取り組みや改善を目指しました

委員会	内容	開催日
入退所検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市の指針に合わせた入居者選び面談を行う 面談シートに基づき入所判定を行う 	1回/3ヵ月
事故再発防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> 発生した事故検討と再発防止の提案 再発防止後の再評価を行う 	月1回
感染予防委員会	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒および感染症防止の検討 コロナウィルスなど感染症防止の啓発活動 	1回/3ヶ月
身体拘束廃止委員会	入居者様の尊厳ある生活をして頂くためにも安易な身体拘束をしないことを施設全体として取り組む	月1回
褥瘡予防委員会	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者の把握する取り組み 予防のための計画の作成と評価 	1回/3ヵ月
防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の避難訓練を実施 …安心して働く環境づくり（防犯を含む） 	2回/年
笑顔になる食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> 笑顔につながる食事について考える 選択食やリクエスト食など意向に添えるように 	隔月
排泄委員会	<ul style="list-style-type: none"> 残存機能を生かした介助ができるように 自然はお通じにつながるような支援 	隔月
入浴委員会	日本人なら誰もが好きな入浴を施設でも楽しみになるような入浴方法を考える	隔月
みんな元気にレク委員会	毎日の暮らしの中に体を動かす、手先を動かす頭を使うレクリエーションを提案	隔月
SDGS委員会	かわさきゴールドパートナーとして活動する	隔月

(3) プロジェクト

スタッフ自身が企画運営していくプロジェクト

未来プロジェクト	開設20年目2030年の「みどりの丘」を考える	隔月
新卒採用プロジェクト	継続的な新卒採用に繋げる活動	随時
働き方改革プロジェクト	働きやすい環境を自ら考えていく	随時

《 みどりの丘が目指すもの 》

コロナとの闘いも3年が過ぎました。

施設の生活がクラスターを生みやすいことには変わりはなく、医療と介護には過酷な日々でした。みどりの丘でもクラスターの発生があり、改めて施設における感染症の発症がどれ程、厳しいものかを実感しました。

5月より第5類への移行となりアフターコロナを踏まえ、地域のニーズに合わせて施設運営を考えていかなければなりません。

デイサービスではよりきめ細かなサービスと地域との連携を深めるために地域密着型デイサービスへの変更を考えています。

イベントやクラブ活動など外部との交流は見合わせました。

このため、日々の生活、日常生活がいかに大切なのかを再認識しました。食事が楽しみなこと、入浴が気持ちよく感じることに、洋服選びや髪形を整えること、体操やレクリエーションで身体を動かすこと、いつも誰かがいて、声をかければ答えが帰ってくるなど安心して温かい環境を整えました。コロナ禍でも利用者様には笑顔でいてほしいと願いました。

ご家族様の面会も大切と考え、感染状況を見ながら出来るだけ要望に応えるよう努めました。

また「かわさきゴールドパートナー」となって2年になりました。

介護施設として初めて認定されました。環境問題の取り組みは継続していましたが外部への発信は出来ていませんでした。

そこで「かわさきスマートライフスタイル大賞」に応募したところ予想外にも『最優秀賞』に選ばれました。

これをきっかけに川崎市より「脱炭素チャレンジカップ全国大会」に推薦されファイナルリストに選ばれました。

全国大会で発表の機会を頂き『環境大臣賞金賞』『オーディエンス賞』のダブル受賞の快挙となりました。

高齢者施設でのSDGs活動は珍しく注目も集めました。

介護の仕事を理解して頂くためにはこのような活動を通して社会に出ていくことが大切だと改めて感じています。

今後も施設内に留まらず、社会の一員として活動していきたいと思っております。

1歩前に進むことで夢も希望も持てる施設でありたいと考えています。